

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果 (保育所)

1 評価機関

名 称	NPO法人ヒューマン・ネットワーク
所 在 地	千葉県船橋市丸山2丁目10番15号
評価実施期間	令和 2年7月1日～令和 3年3月16日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	童夢ガーデン千葉ポートタウン ドウムガーデンチバポートタウン		
所 在 地	〒260-0024 千葉市中央区中央港1-18-2 プレミアムレジデンス千葉県立美術館前1F		
交通手段	最寄駅：JR京葉線「千葉みなと駅」(徒歩8分)		
電 話	043-307-4580	F A X	043-307-4581
ホームページ	http://www.doumugarden.com/		
経 営 法 人	合資会社ライフコミュニケーション		
開設年月日	2019年4月1日		
併設しているサービス	英語レッスン 看護師による健康チェック・相談		

(2) サービス内容

対象地域	千葉県千葉市								
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
	3	8	8	0	0	0	19		
敷地面積	112.20 m ²			保育面積		60.37 m ²			
保育内容	0歳児保育	○	障害児保育		延長保育	○	夜間保育		
	休日保育		病後児保育		一時保育		子育て支援		
健康管理	内科検診・歯科検診・身体測定								
食 事	給食(自園調理)								
利用時間	7:00~19:00								
休 日	日曜・祝日・年始年末								
地域との交流	連携施設との交流、消防署との避難訓練								
保護者会活動	保育参加・個人面談・お楽しみ会								

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
	5	7	12	
専門職員数	保育士	看護師	栄養士	
	7	1	1	
	保健師	調理師	その他専門職員	
		1		
	千葉県支援員	調理補助		
	1	1		

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	千葉市市役所へ申込	
申請窓口開設時間	千葉市市役所へ申込	
申請時注意事項	千葉市市役所へ申込	
サービス決定までの時間	千葉市市役所へ申込	
入所相談	千葉市市役所へ申込	
利用代金	所得に応じて	
食事代金	(保育料に含む)	
苦情対応	窓口設置	(園長) 中上 素子
	第三者委員の設置	なし

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>当法人の指定児童発達支援事業 童夢は発達がゆっくりなお子様のサポート、苦手なことの早期発見、早期支援を目指し、『その子らしく健やかに』を基本理念として、可能性が無限に広がる支援を提供しております。千葉市から児童発達支援事業所として指定して頂き、地域の皆様からも支持され、利用児童数も着実に増えております。地域と共にある支援サービスは必要不可欠であり、地域に密着した支援サービスを提供していくことを経営理念としております。</p> <p>そしてこの理念を小規模保育事業保育へも適用していきたいと考えています。千葉みなと地域の子供達に最善の利益を考慮した保育サービスを提供し、一人一人の個性を大切に、子供の育ちと保護者の子育てを支えていけるような地域に根付いた小規模保育事業所を目指します。</p>
<p>特 徴</p>	<p>週に2回リトルガーデンより外国人講師が来園し英会話レッスンを行っています。レッスンだけでなく、外遊びや給食など通常の活動の中で一緒に子ども達とコミュニケーションをとる時間がたくさんある為、自然に英語に触れることが出来る事が出来る事が大きな特徴です。</p> <p>また年に1回のお芋掘りをリトルガーデン・童夢ガーデン共に開催し自然に触れる喜びや楽しみを感じる事ができます。</p> <p>保護者の負担にならないような行事を計画し開催するように努めています。</p>
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<p>童夢ガーデン千葉ポートタウンは2019年4月、千葉ポートタワー近くに開園したアットホームな保育園。リトルガーデン千葉ポートタウン校に隣接しており、異文化の雰囲気味わえる特徴があります。</p> <p>スタッフ一同、「子どもたちが元気にすくすく育つよう愛情をこめ、一人ひとりの個性に合わせた保育」をモットーに、日々子どもの成長を大切にしています。お子さんが保育園で楽しい気持ちがたくさん持てるように、年齢や個人差に合わせた遊び、外遊びを実施しています。園庭はありませんが、近くに千葉ポートタワーの広大な広場があるので、午前・午後と2回お散歩に行くなどして、たくさん発散できるようにしています。このような園生活の中、保護者の方が安心してお子さまを預けられ、仕事と育児を両立するためのお手伝いができれば幸いです。</p> <p>コロナウィルスにより多くの人が集まる保育園での行事が出来なくなっている為、園での生活をビデオに録り、保護者の方に無料でお渡しをしてお子さんが園でどのように生活しているのか、見て頂いています。お家では見れないお子さんの姿を見ることができ、みなさんに喜んでいただいています。</p>

福祉サービス第三者評価総合コメント

童夢ガーデン千葉ポートタウン

NPO法人ヒューマン・ネットワーク

特に力を入れて取り組んでいること
<p>1. 一人ひとりの思いや言葉を受け止め、子どもの気持ちに寄り添う保育の実践に努めている</p> <p>法人の基本理念である「その子らしく健やかに」のもと職員は「子どもたちが元気にすくすく育つよう、愛情を込め一人ひとりの個性に合わせた保育」をモットーに日々保育を実践している。職員は一人ひとりの子どもの興味や好きな遊びの把握に努め、子どもの自発的な言葉や思いに耳を傾けることを大切にしている。子どもの様子や状況に応じて指導計画を臨機応変に変更することで、子どもたちは好きな遊びを十分楽しみ満足感や充実感を持って過ごしている。子どもの思いに寄り添う職員の姿勢は、保護者アンケートの総合意見の中で「のびのびと個性を大切にしている」「たっぷりの愛情をもって接してもらっている」とあり「子どもが喜んで登園し保育園生活を楽しんでいる」の項目についても高い評価を得ている。</p>
<p>2. チームワークが良く、働きやすく、働き甲斐のある職場を作っている</p> <p>働きやすい職場づくりに努め、チームワークが良く、明るく前向きな職場となっている。園長が特に配慮していることは①職員の家庭環境も配慮したシフト調整に努めること②職員の主体性を大切に、やりたい保育にチャレンジする環境づくりに努め、職員一人ひとりの得意分野を伸ばす保育に努めること③職員同士がコミュニケーションをとる為にも休憩時間をしっかり確保すること④定時勤務終了に努めるなどに配慮している。職員自己評価でも「人間関係が良く、自分らしく楽しく仕事ができている」「仲が良く、チームワークができていて保育がしやすい」等の発言が多く、働きやすく、働き甲斐のある職場であると思われる。</p>
<p>3. 保護者アンケートの結果は100%と極めて高い評価を得ており、ネットサービスを利用した写真の提供や丁寧な対応で保護者から園運営についての信頼度が高い</p> <p>日頃から保護者とのコミュニケーションを大切に、送迎時には家庭での子どもの様子や体調の確認などを丁寧に聞き取り、その日の保護者の姿を捉え気持ちに添った対応を心掛けている。全職員が全園児の状況を把握しており、園全体で対応する姿勢が保護者との信頼関係に繋がっている。遠足や誕生会、クリスマスなどの行事には写真を撮り玄関に掲示しいつでも閲覧できると同時に、ネットサービスを利用して提供している。一年を通して日常の子どもの姿を動画に撮りCDにして年度ごとに保護者に贈り、子どもの成長の記録となり好評である。保護者アンケートの結果は、「大変満足」60%「満足」40%と合計で100%の高評価を得ている。項目では「職員の子どもや保護者の接し方」「戸外遊びを通して自然に触れ地域と関わる」「保育園での過ごし方や心身の状態についての情報提供」などがすべて100%と高い支持を得ており保育園の信頼度は高い。</p>
さらに取り組みが望まれるところ
<p>1. 各年齢に応じた子どもの姿や保育者の振り返りに繋がる保育日誌の記録が望まれる</p> <p>全体的な計画に基づき年間、月間、週案、さらに言語、表現、運動について具体的な年間計画を作成し、職員間で日々意見交換をおこなう他、職員会議や保育ミーティングで評価、反省を共有し次期の保育に繋がるよう努めている。子どもの育ちを支える保育実践の中で、日々の振り返りが大切となる保育日誌の記録が全年齢で合同の記録となっている。各年齢の月間指導計画から落とし込んだ日々のねらいや活動、言葉かけや援助の方法、環境構成は適切であったか、今日の子どもたちは何を学びどんな育ちに繋がったかなど、保育士自身の振り返りの中で課題を明確にしていくことが求められ、今後は各年齢に応じた保育日誌の記録が望まれる。</p>
<p>2. 職員は保育の仕事に遣り甲斐を持って努めているが、職員確保など職場環境の改善が望まれる</p> <p>今回実施した職員アンケートでは「保育の仕事に遣り甲斐を持ち、大切な仕事と納得し取り組み、人間関係が良く働きやすい職場である」という回答が多く得られた。しかし業務が多忙な中で、保育内容や保護者支援などの質の向上を図る上でゆとりのある職員の勤務体制も望まれており、職員確保など職場環境の改善にさらに努めていくことが望まれる。</p>

3. 小規模保育園としての機能を活かした支援の方法を検討し、工夫しながら子育て支援に繋げていくことを期待する

保育園は開園2年目である。地域の子育てニーズは把握しているがコロナ禍の影響で子育て支援や地域交流を自粛している。今後、保育園機能を活かした取り組みも検討しており、保育室が限られている中での取り組みは、方法の検討や工夫が必要であると園でも認識している。その中で、日頃の保育活動として取り組んでいる英語を取り入れた参加型の体験や、地域の親子を招き一緒に活動するなどの内容を検討している。保育園の置かれている現状を考慮し、園の目指す子育て支援のあり方を探りながら地域ニーズを捉えた支援に繋げていくことを期待する。

(評価を受けて、受審事業者の取り組み)

子どもや保護者の方と元気に笑顔で接せられるよう、毎日一生懸命、心を込めて努めておりますが、第三者評価委員の方にお話しを頂く事で、見えていない部分特に組織としての書類やマニュアル不足が明確となり、専門職としてあり方を反省致しました。これからは系列園の園長同士で話し合い、ライフコミュニケーション全体とした組織作りを行っていきたいと思います。

また保育の内容に関してご教示頂いたことを、職員と話し合い全体の計画・指導計画・年間計画・保育日誌などの改善を行っていきたいと思います。

日々の充足だけでなく園という組織が充実し地域に密着した存在となるよう小さなことからコツコツ愛情を持って運営していけるよう努力していきます。ご協力頂きありがとうございました。

福祉サービス第三者評価項目（童夢ガーデン千葉ポートタウン）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目		
				■実施数	□未実施数	
I	福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	1 理念・基本方針の確立	1 理念や基本方針が明文化されている。	3	
			2 理念・基本方針の周知	2 理念や基本方針が職員に周知・理解されている。	3	
			3 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3		
		2 計画の策定	事業計画と重要課題の明確化	4 事業計画を作成し、計画達成のための重要課題が明確化されている。	4	
				5 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	3	
		3 管理者の責任とリーダーシップ	管理者のリーダーシップ	6 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組みに取り組み指導力を発揮している。	5	
				7 施設の全職員が守るべき倫理を明文化している。	2	1
		4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	8 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	1	3
				9 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	5	
			職員の就業への配慮	10 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	2	3
11 施設の全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	4					
II	適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	12 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	3	1	
			13 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4		
			14 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4		
			15 保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、保育の質の向上に努めている。	3		
		2 保育の質の確保	提供する保育の標準化	16 提供する保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	1	3
				17 保育所利用に関する問合せや見学に対応している。	2	
		3 保育の開始・継続	保育の適切な開始	18 保育の開始に当たり、保育方針や保育内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4	
				19 保育所の理念や保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	3	
		4 子どもの発達支援	保育の計画及び評価	20 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5	
				21 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	5	
22 身近な自然や地域社会と関われるような取組みがなされている。	4					
23 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	5					
24 特別な配慮を必要とする子どもの保育が適切に行われている。	5			1		
25 長時間にわたる保育に対して配慮がなされている。	3					
26 家庭及び関係機関との連携が十分図られている。	2			1		
27 子どもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	3					
5 安全管理	環境と衛生	30 環境及び衛生管理は適切に行われている。	3			
		31 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4			
		32 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	5			
6 地域	地域子育て支援	33 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	2	3		
		計	113	16		

項目別評価コメント

(利用者は子ども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

評価項目	標準項目
1 理念や基本方針が明文化されている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 理念・方針が文書(事業計画等の法人・事業所内文書や広報誌、パンフレット等)に明記されている。 ■ 理念・方針から、法人が実施する福祉サービスの内容や特性を踏まえた法人の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。 ■ 理念・方針には、法の趣旨や人権擁護、自立支援の精神が盛り込まれている。 <p>(評価コメント)「将来を担っていく子ども一人ひとりが『その子らしく健やかに』心身ともに育っていく保育園を目指していく」を理念に掲げ、保育方針、保育目標を入所のしおりに掲載している。理念について「落ち着いた環境の中で保育を行う、感受性や成長の方向を大切に支えていく、自分の気持ちを伝え、相手の気持ちを汲み取ることが出来るよう対話力・協調性を養う、戸外遊びや食育等を通じて丈夫な体作りを行う、地域に開かれた保育園を目指す」と分かり易く説明している。「健康で明るく元気な子」「感受性豊かで自分を表現できる子」「思いやりのある優しい子」を保育方針に、「豊かな心と身体の発達を目指す」を保育目標に明示している。また、保育理念及び運営方針の日常への反映方法を分かり易く説明している。</p>
2 理念や基本方針が職員に周知・理解されている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。 ■ 理念・方針を会議や研修において取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。 ■ 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。 <p>(評価コメント)3月末の職員会議時に園長より理念に基づいた思いを伝え、共通理解を深めるようにしている。また、全体的な計画の冒頭に表示し、理念・方針等を実践できるように月案・週案・日案に具体化している。日常の会議などで具体的な支援を話し合い、理念「その子らしく健やかに」の実践に努めている。</p>
3 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 契約時等に理念・方針が理解し易い資料を作成し、分かり易い説明をしている。 ■ 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。 ■ 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。 <p>(評価コメント)保育理念や保育方針と7つの日常への反映方法を、入園のしおりに記載し、入園説明会や面接時に説明を行っている。毎月の園だよりや保育参観、クリスマス会などの行事などで保育理念「その子らしく健やかに」心身ともに育っていく保育園を具体的に伝えている。今回のアンケート調査によると「保育目標や方針について説明を受け、知っていますか」の質問に93%の保護者から「はい」との回答が得られ、理念・方針を周知する取り組みに成果が見られる。</p>
4 事業計画を作成し、計画達成のための重要課題が明確化されている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。 ■ 理念・基本方針より重要課題が明確にされている。 ■ 事業環境の分析から重要課題が明確にされている。 ■ 現状の反省から重要課題が明確にされている <p>(評価コメント)今年度事業計画が策定され、運営体制、運営方針、重点目標、職員育成計画、施設改修、給食方針、保健計画、環境整備、地域交流、第三者評価の受審、専門講師による保育活動、地域家庭支援、施設改修などが計画されている。開園2年目、今年度の重要課題は①保育士不足による職員確保など職場環境の改善に努めること②研修時間を確保し保育の質の向上を図ること③子どもたちの安全を最優先し、常に見守り事故の無いように取り組むこと等である。事業計画、重要課題は職員理解を深める意味でも全員で話し合う必要があると思われる。</p>
5 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員と幹部職員が話し合う仕組みがある。 ■ 年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。 ■ 方針や計画、課題の決定過程が、一部の職員だけでなく、全ての職員に周知されている。 <p>(評価コメント)毎月の職員会議では活動内容や保護者対応、連絡事項の周知など情報の共有を行っている。保育会議ではクラス運営や全体の行事等について話し合い、指導計画の報告と振り返り、反省は随時行われている。園長は常に職員と話し合い共通理解を持ち、職員全員が同じ価値観のもとで取り組み、保育の質の向上につなげている。</p>
6 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組みに取り組み指導力を発揮している。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。 ■ 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生れ易い職場づくりをしている。 ■ 研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。 ■ 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。 ■ 評価が公平に出来るように工夫をしている。 <p>(評価コメント)園長が配慮していることは①職員の家庭環境も配慮したシフト調整に努めること②職員の主体性を大切にし、やりたい保育にチャレンジする環境づくりに努めること③職員一人ひとりの得意分野を伸ばす保育に努めること④員同士がコミュニケーションをとる為にも休憩時間をしっかり確保すること⑤定時勤務終了に努めるなどである。職員が長く働き続けられるよう、働きやすい環境づくりに努め、職員のモチベーションは高い。また、保護者との信頼関係も良く職員の働き甲斐につながっている。</p>
7 施設の全職員が守るべき倫理を明文化している。	<ul style="list-style-type: none"> □ 法の基本理念など踏まえて、保育所の倫理規程があり、職員に配布されている。 ■ 従業者を対象とした、倫理及び法令遵守に関する研修を実施し、周知を図っている。 ■ プライバシー保護の考え方を職員に周知を図っている。 <p>(評価コメント)職員は自己評価チェックリストで子どもの人権・人格の尊重、個人情報取り扱い、保護者支援、職員としての心構えなどを確認し、意識の向上を図り、個人情報保護方針などに基づいて行動するように努めている。虐待防止について保育ミーティングで話し合い、具体的な事例を基に理解を深めるなど、倫理及び法令順守の徹底を図っている。就業規則等に倫理規定の明文化が望まれる。</p>

8	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input type="checkbox"/> 人材育成方針が明文化されている。 <input type="checkbox"/> 職務権限規定等を作成し、従業者の役割と権限を明確にしている。 <input type="checkbox"/> 評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。
<p>(評価コメント)年2回職員自己評価を実施し、チェックリストに基づき園の基本姿勢、保育所保育指針に基づく基本原則等の総則、保育の内容、健康及び安全、子育て支援、職員の資質向上等100項目を4段階で評価し、園長は個人面接で目標や反省点を話し合い、公平・公正な評価を行い育成を図っている。しかし、明確な人事考課制度はなく、今後役割と責任、求められる能力と研修など具体的な表現の人事基準の作成が望まれる。</p>		
9	事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている <input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が相談をしやすいような組織内の工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得を励行している。
<p>(評価コメント)園長が時間外労働や有給休暇取得状況を確認し就業関係の改善に努めている。話しやすい環境づくりに努め、相談など声掛けがあった時はすぐ時間を作るようにしている。法人や園長は人材確保に努めているが、一部の職員からは人手不足、体調不良でも休みにくい、保育士が少なく負担が大きい等の発言がみられ、現状を回復し改善策の検討を望みたい。</p>		
10	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/> 中長期の人材育成計画がある。 <input type="checkbox"/> 職種別、役割別に能力基準を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。 <input type="checkbox"/> 個別育成計画・目標を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> OJTの仕組みを明確にしている。
<p>(評価コメント)年間研修計画に基づき外部研修などの職員研修を実施していたが、コロナ禍の為取り組めていない。園内研修は看護師によるコロナやノロウイルス等の感染症についての実践的な研修が行われ、職員の能力向上に努めている。OJTは経験の浅い職員にベテランが付き、丁寧に指導育成を図っている。個別育成計画は自己評価に基づく面接により課題等を話し合い、個別の職員育成に努めているが、育成計画として明記はされていない。今後項目などを整理し職員一人ひとりの育成計画として立案されることに期待したい。</p>		
11	施設の全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/> 法の基本方針や児童権利宣言など研修をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常の援助では、個人の意思を尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の言動、放任、虐待、無視など行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 虐待被害にあった子どもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
<p>(評価コメント)児童憲章、保育士倫理綱領、児童虐待防止法、保育理念を共有し、子ども一人ひとりに対する接し方など、高い意識を持ち日々の保育を心掛けている。職員の信頼関係が高く、立ち振る舞いや言葉かけなど、お互いが指摘し合えるように努めている。また、園長が助言・指導し職員育成を図っている。気になる家庭や子どもへの関りは職員全員で対応し個別支援に努めている。</p>		
12	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の利用目的を明示している。 <input type="checkbox"/> 利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員(実習生、ボランティア含む)に研修等により周知徹底している。
<p>(評価コメント)入園のしおりや重要事項説明書に個人情報の取扱いに関する事項を記載し、園だよりや各種掲示、日ごろの園活動の掲載などを保護者に説明し同意を得ている。また、保護者参加行事などで撮影した写真・動画などは個人情報流出とならないよう注意を呼び掛けて対応している。職員は携帯電話などを保育室に持ち込まないよう周知・徹底を図り、守秘義務に関する誓約書を交わし、個人情報保護を徹底している。</p>		
13	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者満足を把握し改善する仕組みがある。 <input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・家族が要望・苦情が言いやすい雰囲気を作っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
<p>(評価コメント)連絡アプリを活用し、常に保護者一人ひとりの意見を聞き取る様にしている。また、運動会などの行事後にアンケートを実施し、保護者の意見・要望の把握に努めている。アンケート結果は改善点等をまとめ、職員と共有し保護者にフィードバックしている。今回の保護者アンケートも回答率は83.3%で、大変満足60%、満足40%と全員が満足以上であり高い総合評価であった。</p>		
14	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある	<input checked="" type="checkbox"/> 保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。 <input checked="" type="checkbox"/> 自己評価や第三者評価の結果を公表し、保護者や地域に対して社会的責任を果たしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。
<p>(評価コメント)重要事項説明書や入園のしおりに相談、苦情など対応窓口及び担当者を明記し保護者に配布すると共に、入園説明会において口頭でも説明し周知徹底を図っている。苦情対応の手順や記録用紙を備え仕組みを整備しているが、開園2年間で苦情に至るケースは発生していない。日頃から保護者とのコミュニケーションを丁寧におこなうことを心がけ、連絡帳や送迎時の会話で把握した保護者の要望や意見は園全体で共有し対応する姿勢が保護者との良好な信頼関係に繋がっている。今年度は11月に、イベントについての希望、園だよりの内容や配布方法、自由意見などの項目内容で保護者アンケートを実施し、寄せられた意見や要望は今後の園運営の参考としていくことを検討している。</p>		

15	保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、保育の質の向上を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。 ■ 保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。 ■ 自己評価や第三者評価の結果を公表し、保護者や地域に対して社会的責任を果たしている。
(評価コメント) 保育内容の自己評価は指導計画に基づきクラスごとに年間、月、週で自己評価をおこない、毎月開催する職員会議において内容を全職員で共有している。保育士及び看護師の自己評価は園の基本姿勢の他、保育所保育指針に照らし合わせた100項目、栄養士は衛生管理について80項目をそれぞれの職務に合わせた内容で実施している。年2回の自己評価後、園長と面接をおこない各自の悩みや課題を確認しあい改善に繋げている。今後は職員の自己評価とPDCAサイクルの活用により保育園の自己評価を実施し保育の質の向上に繋げることが望ましい。		
16	提供する保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務の基本や手順が明確になっている。 □ 分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。 □ マニュアル見直しを定期的に行っている。 □ マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
(評価コメント) 安全、衛生、食物アレルギー対応、非常時の対応マニュアルなどを作成し、必要な時には即時、確認できるように事務室に保管及び掲示している。業務内容の基本や手順の他、今後は保育士の基本姿勢や心得、当園の保育理念や方針に基づいた保育の方法、保育士の関わりや配慮事項など、保育の標準的実施方法のマニュアルを職員参画のもと作成し、保育技術の向上に繋げていくことが望まれる。また各種マニュアルは状況に合わせて随時見直しすることが望ましい。		
17	保育所利用に関する問合せや見学に対応している。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。 ■ 問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
(評価コメント) 園案内はホームページや童夢ガーデンのパンフレット、市の案内に掲載し情報を得ることができる。園見学は希望に合わせておこなうが、土曜日は平日の保育と異なることや、コロナ禍での見学として玄関での対応となることを説明し理解が得られるよう努めている。案内は園長が対応し童夢ガーデンの「その子らしく健やかに」のモットーを基本に、当園では子どもの心情に合わせた関わりを大切に、一人ひとりのペースに合わせた生活リズムと個性を尊重した保育に取り組んでいることを説明し、保護者が抱える集団生活への不安感の軽減に繋げている。また、保護者が子育ての悩みや孤独感を抱えていないか対話の中で把握するよう努めている。		
18	保育の開始に当たり、保育方針や保育内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保育の開始にあたり、理念に基づく保育方針や保育内容及び基本的ルール等を説明している。 ■ 説明や資料は保護者に分かり易いように工夫している。 ■ 説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。 ■ 保育内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
(評価コメント) 4月入園に備え3月中旬以降に入園説明会を開催している。事前に入園のしおりと重要事項説明書を各家庭に郵送し、目を通してもらうことで速やかな会の進行となっている。説明会では園長が保育方針や保育内容及び基本的ルールなど、看護師や栄養士が保健や給食関係について説明している。保育の様子をまとめたアルバムや、園生活に必要な持ち物について写真や実物を用意するなど、分かりやすく伝える工夫に努めている。説明後の個人面談では、入園前の生活状況、離乳食、アレルギー、健康状況、保護者の意向などを聞き取り記録化している。面談内容は全職員で共有し入園後の生活がスムーズに開始できるようにしている。		
19	保育所の理念や保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体的な計画は、保育理念、保育方針、保育目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。 ■ 子どもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。 ■ 施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。
(評価コメント) 全体的な計画は保育理念、方針、目標及び発達過程、食育、健康、安全、衛生などを組み込んで作成している。園長が原案を作成後、職員間で話し合い、子どもやクラスの状況に合わせた内容に見直し、全職員で共通理解を図っている。開園3年目を迎えるにあたり、小規模保育園ならではの当園の取り組みや特色ある保育について、これまでの実践内容の振り返りから今後の方向性を明確にしさらに充実した内容に繋げることに期待したい。		
20	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体的な計画に基づき、子どもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。 ■ 3歳児未満、障害児等特別配慮が必要な子どもに対しては、個別計画が作成されている。 ■ 発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、子どもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。 ■ ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。 ■ 指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
(評価コメント) 全体的な計画に基づき、長期指導計画と短期指導計画及び保健計画を作成している。個別計画は前月の子どもの姿を踏まえた今月のねらい、保育士の援助と配慮、評価、反省を記載し一人ひとりの子どもの育ちを支えていくよう努めている。各計画は担当保育士が作成するが、日ごろから年齢枠にとらわれずに全園児を全職員で関わることを大切にしていることから、保育の実践や子どもの育ちの振り返りは日々意見交換を重ね、その内容は月1回の職員会議や月2回の保育ミーティングで確認、共有を図り保育内容の向上に繋がるよう努めている。		
21	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。 ■ 子どもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。 ■ 好きな遊びができる場が用意されている。 ■ 子どもが自由に遊べる時間が確保されている。 ■ 保育者は、子どもが自発性を発揮できるような働きかけをしている。
(評価コメント) 子どもの発達や興味に応じた玩具や遊具を用意し、自由遊びの時間は自由に取り出して遊ぶことができるよう、子どもの目線や手の届くところに配置している。また、様々な遊びが混在しないようマットなどを利用して遊ぶ場所を確保することで好きな遊びが楽しめるよう配慮している。ブロックで作った作品や作りかけの作品は遊びが継続して楽しめるように夕方まで展示することで、子どもの気持ちを受け止め満足と意欲に繋がっている。日頃から子どもの興味や好きな遊びを把握することに努め、子どもの自発的な言葉や思いを受け止め遊びの環境設定を工夫している。また、遊びに消極的な子どもには「～したいの？」と気持ちをくみとり遊びに誘うことをきっかけに子どもの自発性に繋がるよう配慮している。		

22	身近な自然や地域社会と関われるような取組みがなされている。	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもが自然物や動植物に接する機会を作り、保育に活用している。 ■散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。 ■地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。 ■季節や時期、子どもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常保育の中に取り入れている。
<p>(評価コメント)散歩を日々の保育に位置付け広場や公園に出かけ体を動かすことを楽しんだり、消防車、パトカー、モノレール、船を身近に見たり、季節ごとの自然の中で花や虫に触れるなど散歩を通して様々な経験と学びに繋がっている。散歩の中での喜びや驚きを言葉や表情で表現することは五感を刺激し感性の育みに繋がっている。毎月の誕生会、七夕、豆まき、ひな祭りなど日本古来の行事を楽しむ他、2歳児は園バスで系列園の芋ほりの経験やこれまでの散歩先を巡るなど季節や時期に応じた活動を取り入れ日常の生活に変化と潤いを持たせる工夫をしている。活動内容は口頭、写真掲示、DVDなどで保護者に伝えており、保護者アンケートでは「自然に触れたり地域との関わりを十分楽しんでいるか」の回答は100%満足と高い評価を得ている。</p>		
23	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<ul style="list-style-type: none"> ■子ども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。 ■けんかやトラブルが発生した場合、危険のないように注意しながら、子供達同士で解決するように援助している。 ■順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。 ■子どもが役割を果せるような取組みが行われている。 ■異年齢の子どもの交流が行われている。
<p>(評価コメント)子どもの思いや行動を肯定的に受けとめ、否定的な言葉を禁句とし子どもの心情を受け止めた言葉かけを職員間で共通理解し、子どもへの関わりに配慮している。小規模保育園の利用は0～2歳児の子どもたちのため言葉によるコミュニケーションが十分図れないこともあり、子ども同士の関わり合いの中で遊具の取り合い、順番をめぐる場面ではトラブルが生じやすい。「かして」「いいよ」「まってね」など、その場にあった言葉で自分の気持ちを相手に伝えられるよう保育者が仲立ちとなっている。また、トラブルを起こしやすい子どもは保育者と1対1で触れ合う時間を多くする、一人で遊ぶことを見守る、友達関係を把握して気の合う友達との時間を増やすなどにより、落ち着いた気持ちで過ごせるよう配慮している。</p>		
24	特別な配慮を必要とする子どもの保育	<ul style="list-style-type: none"> ■子ども同士の関わりに対して配慮している。 ■個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。 ■個別の指導計画に基づき、保育所全体で、定期的に話し合う機会を設けている。 □障害児保育に携わる者は、障害児保育に関する研修を受けている。 ■必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 ■保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。
<p>(評価コメント)今年度該当児はいないが、個別に配慮を必要とする子どもの個別計画を作成し記録している。クラスミーティングや全体会議などで子どもの姿や保育士の関わり、対応方法などを共有し、無理には遊びに誘わず好きな遊びが十分できる環境を整え気持ちが安定して過ごせるよう配慮している。子どもの状態により系列園の発達支援事業所と連携を図る体制が整っている。今年度の障害児研修は中止となり、外部の障害児保育に関する学びの機会はなかったが、職員が資料や知識として得た内容を共有する機会を持った。今後は研修に参加する予定である。</p>		
25	長時間にわたる保育に対して配慮がなされている。	<ul style="list-style-type: none"> ■引き継ぎは書面で行われ、必要に応じて保護者に説明されている。 ■担当職員の研修が行われている。 ■子どもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。
<p>(評価コメント)玄関で登降園時の対応をおこない、保護者から体調や怪我、家庭での様子を聞き取り受け引き継ぎ簿に記録して担当保育士に伝達している。全職員は出勤時に引き継ぎ簿を確認し全園児の情報を共有している。日中の体調の変化や熱などを引き継ぎ簿に記録し、職員は昼時間に情報を共有しお迎えの保護者に詳しく伝えることが出来ている。延長保育の利用者は2～3人と少なく保育士と1対1で関わりながら抱っこや子どもの好きな玩具で遊んだり、体調に合わせて横になったりしゅったりと過ごせるようにしている。</p>		
26	家庭及び関係機関との連携が十分図られている。	<ul style="list-style-type: none"> ■一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、子どもの発達や育児などについて、個別面談、保育参観、保育参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。 ■保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。 □就学に向けて、保育所の子どもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図るとともに、子どもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、保育所児童保育要録などが保育所から小学校へ送付している。
<p>(評価コメント)保護者への情報提供は連絡帳を用いて日中の子どもの様子や保育活動について知らせ連携を図っている。昨年の保育参加は親子で製作し出来上がったもので一緒に遊ぶ活動や散歩などをおこなったが、今年度は実施できていない。個人面談は年2回予定しているが、毎日保育士とコミュニケーションを図っていることから希望されない保護者もいる。2歳児までの保育施設のため小学校との交流はおこなっていない。</p>		
27	子どもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等の把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。 ■保護者からの情報とともに、登所時及び保育中を通じて子どもの健康状態を観察し、記録している。 ■子どもの心身の状態を観察し、不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。
<p>(評価コメント)年間保健計画を作成し保健だより、保健指導、留意点、環境整備の項目で計画している。健康診断・歯科健診、身体測定の結果は看護師が健康観察票に記入し保護者に知らせている。健診の結果異常があった場合は別紙で伝えている。健康観察票は毎日家庭から持参し熱、咳、くしゃみ、鼻汁、咽頭痛などのチェック項目に沿って保護者が観察チェックを行い、看護師または園長が確認後押印している。登園時にも玄関に用意された個人用の体温計で計測し体調管理の徹底を図っている。虐待未然防止や早期発見のための対策として、日々の子どもの様子を観察し異常が見られた場合には迅速に対応できる体制がある。虐待に関する園内研修や園児と保育士の関わりについても見直し、セルフチェックなどを通して日頃より意識を高めていくことも求められる。</p>		

28	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、その子どもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医や子どものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。 ■ 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。 ■ 子どもの疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
(評価コメント) 保育中の体調不良や怪我などが発生した場合は、看護師が観察後安静の確保をし受診の判断は相談の上園長が行う体制が出来ている。乳幼児突然死症候群の発生予防対策として、睡眠時に0歳児は10分毎、1・2歳児は20分毎に確認し記録している。また、0歳児は午睡センサー(睡眠チェック)を導入し予防対策を図っている。感染症対策として、アルコール消毒液や次亜塩素酸ナトリウム、次亜塩素酸水を場所や用途に応じて手指、床、ドアノブ、玩具などの消毒を行い発生予防に努めている。感染症発生時には玄関の掲示やメールで発生状況や家庭での注意点など情報提供をし協力を求めている。		
29	食育の推進に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 食育の計画を作成し、保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。 ■ 子どもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、子どもと調理員との関わりなどに配慮している。 ■ 体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人一人の子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。 ■ 食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のある子どもの誤飲防止など細かい注意が行われている。 ■ 残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
(評価コメント) 昨年度は年間食育計画を基に、食育活動としてスイートポテト作りやケーキ作り、まんじゅうに顔を描くなど年齢に合わせたのクッキングや野菜スタンプなどの経験活動をおこなってきた。今年度は活動を制限することも多いが、毎週水曜日に生の野菜に触れる機会を持ち食材への興味や関心が持てるようにしている。栄養士と調理員が交代で保育室を巡回し、喫食状況を見ながら切り方や味付け、調理方法などを工夫し少しでも食べられるようにしている。また、家庭では和食が少なくなっていることから園では様々な食材を口にすることで味になじむ機会と捉え大切にしている。食物アレルギー児対応として、トレーや食器を色分けし配膳は別の場所(ミニキッチン)から提供している。チェック表に園長は検食後押印し、給食室と保育士は口答で確認後押印して誤飲誤食防止に努めている。		
30	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。 ■ 子ども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。 ■ 室内外の整理、整頓がされ、子どもが快適に過ごせる環境が整っている。
(評価コメント) 保育室に温度・湿度計を設置し、空気清浄機付き加湿器を利用して加湿に努めている。玩具の消毒や布製のおもちゃの洗濯は週1回行い、子どもが口に入れたものはその都度消毒をしている。衛生管理の観点から日々子どもが触れた玩具などはよりこまめな消毒が必要と思われる。看護師が子どもの手洗い指導を行い、年齢に応じて絵本などを媒体にして実施している。子どもの手洗いには必ず保育士が付き一人ひとり洗い残しが無いよう見取りながら清潔が保てるようにしている。毎日の安全点検は20項目を確認後チェックし室内の保健的環境の維持に努め快適に過ごせるようにしている。		
31	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。 ■ 事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。 ■ 設備や遊具等保育所内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。 ■ 危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
(評価コメント) 事故発生時の手順を明確にして、事務室に掲示職員に周知している。事故発生時には園長と保育士が当日に事故の状況の確認や原因分析をおこない、全職員に報告すると共に再発防止策などを検討して事故報告書を作成している。保育中のヒヤリ・ハット報告は、回覧後会議でも共有している。安全点検は運番保育士が項目に沿ってチェックし記録している。不審者対策として玄関の施錠は必ずおこない、来園者は窓から確認後解錠するなど安全に努めている。		
32	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。 ■ 定期的に避難訓練を実施している。 ■ 避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。 ■ 立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。 ■ 利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。
(評価コメント) 年間避難訓練計画を基に月1回火災、地震、水害、通報、不審者訓練などをおこなっている。内1回は消防署員立ち会いの下で避難訓練や消火器の使い方訓練を実施している。海岸に近い立地を考慮して津波や液状化に備え、年間1回、保育園上層階マンションへの避難訓練をおこなっている。家庭との連携では、年1回子どもの引き取り訓練の実施をアプリで連絡し、引き取り時には災害時用保護者カードの提示を求めるなど緊急時に備えている。		
33	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の子育てニーズを把握している。 <input type="checkbox"/> 子育て家庭への保育所機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。 ■ 子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。 <input type="checkbox"/> 地域の子育て支援に関する情報を提供している。 <input type="checkbox"/> 子どもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
(評価コメント) 保育園の近隣はマンションや高齢者施設があり、地域住民の中には子育て家庭が多く見られるなど地域全体のリサーチを行い把握している。園として地域の子育て支援のあり方を積極的に探っている段階である。今年度コロナ禍の影響で地域への子育て支援は自粛しているが、今後小規模保育園としての機能を開放した支援の方法を検討し、工夫しながら子育て支援に繋げていくことを期待する。		